

先進事例 紹介

消防の広域化

住民サービスの向上と消防力の強化を目指して

富山県 新川地域消防組合

管内の概況

新川地域消防組合は黒部市、入善町、朝日町の1市2町で構成され、富山県の最東部に位置し、北は日本海に面し、東は新潟県境、長野県境に、西は魚津市、南は上市町、立山町に接するとともに立山連峰をはじめとする中部山岳国立公園が広がっています。

この地域は北アルプスのほぼ中央部、3,000メートル級の山岳に源を発し、日本海にそそぐ黒部川によって形成された扇角約60度のきれいな扇状地にあり、海・山・川に恵まれた自然豊かな地域です。

管内には扇状地を横切るようにJR北陸本線、北陸自動車道路、国道8号線が通り、沿線には市街地や大規模工場が展開し、扇状地が海に接する扇端部では清冽な地下水が湧き出し、その「水」の恩恵を受け、米の生産が盛んです。

国の天然記念物に指定されている「杉沢の沢スギ」を含む全国名水百選に選ばれた黒部川扇状地湧水群、「ヒスイ海岸」と呼ばれ日本の渚・百選に選定された美しいエメラルドグリーンの宮崎・境海岸、深いV字峡を形成する「秘境黒部峡谷」は有名であり、毎年多くの観光客



管内を形成する大きく広がる扇状地

が来訪しています。

2015年春に北陸新幹線が開通し、管内の黒部宇奈月温泉駅の開業は、県東部の玄関口として観光・経済・産業の活性化、交流人口の活性化に繋がることが期待されています。

管轄人口82,556人、管轄面積725.57km²、管轄世帯数28,785世帯（平成25年4月1日現在）を1本部4署、消防車両35台、職員117人で災害に対応しています。

広域化に至る経過

国は、市町村の消防の広域化による消防力の強化を推進する観点から、平成18年6月に消防組織法の一部を改正、同年7月「市町村の消防の広域化に関する基本指針」が示されたことで、富山県は平成20年3月に「富山県消防広域化推進計画」を策定し、県東部9市町村の広域化の組み合わせ案として複数のパターンを示しました。

このことにより、関係市町村では、県が示した案をもとに検討会を開き、最終的には、より生活圈や地域性が強い枠組みのほうが住民サービスの向上や消防力の強化が期待されるとの見解から黒部市、入善町、朝日町の1





新川地域消防組合開庁式

市2町での枠組みによる消防の広域化の方向性を打ち出しました。

平成23年12月に各首長の合意を得て「新川地域消防広域化協議会」が組織され、平成24年1月に幹事会及び事務局の体制が整い、以降協議会5回、幹事会6回を開催し、多岐にわたる消防の運営にかかる調整方針や組織、費用負担等について協議、調整を進め、1市2町の総意のもと、平成24年8月に「新川地域広域消防運営計画」を策定、平成25年2月に県知事から「新川地域消防組合」の設置が許可され、平成25年の3月に黒部市、入善町、朝日町の1市2町による消防の広域化（1本部4消防署）で消防業務がスタートしました。

広域化の効果

広域化の効果は、住民サービスの向上と消防力の強化にあります。

広域化前は、火災出動における出動体制は第1出動で消防ポンプ車が2台であったのに対し、広域化後は従来の出動車両2台に消防ポンプ車2台、救急車1台、指揮車1台の4台を合わせ計6台が出動することで災害時の初動体制の強化が図られました。また、非番招集に頼っていた第2出動以降の出動体制も迅速に整えることが可能となり消防力の強化に繋がりました。

さらに複数の災害が発生した際に、これまでは非番員の招集や近隣市町への応援に頼らざるを得ませんでした。が、広域化後は対応可能な署へ出動指令が速やかに行わ

れるようになり対応時間が大幅に短縮されることとなりました。

また、高機能消防指令システムの導入により、通報場所が瞬時に特定でき119番通報から出動車両の自動編成、出動指令までの一連の処理を自動化することで現場到着時間が短縮されました。さらに、市町の境界に捉われない効率的な出動体制の直しにより、災害現場直近の署から車両が出動できるため、同様に現場到着時間が短縮されました。

財政面では本部統合により、必要な施設や設備などの重複投資を回避することができ、1市2町の財政負担が軽減されるほか、財政規模拡大に伴う高度な資機材、特殊車両の計画的な整備が可能となります。

また、消防救急無線のデジタル化において、市町単独から広域で整備することにより中継局を効果的かつ効率的に配置することができ、財政負担が軽減できると考えられます。



新川地域消防組合庁舎

まとめ

広域化の目的は、住民サービスの向上と消防力の強化です。住民の生命、財産を守り、安全で安心して暮らせる新川地域の実現に向けて、広域化のメリットを十分に活かし、創意工夫を重ね、より高度な住民サービスを提供するよう、職員一丸となって業務に邁進してまいります。